

天文学とプラネタリウム

第111回



今月のお題

本気で目指す、一家に1枚宇宙図



一家に1枚を達成するために、まずは一校に1枚に挑戦中です。



www.tenpla.net

高梨直統 (東京大学)
平松正顕 (国立天文台チリ観測所)

5月号のコラムでも紹介したように、今春、最新の天文学の成果を盛り込んだ宇宙図2013が完成しました。美術家の小阪淳さんをはじめ、天ブラのコアメンバーも多数参加する制作委員会渾身の作です。このポスターは、もともと2007年春の科学技術週間に合わせて作成されたもの。文部科学省が毎春制作、配布している“一家に1枚シリーズ”と呼ばれるポスター群の1枚として制作されたもので、正式名称は「一家に1枚宇宙図」となっています。一家に1枚はってもらって、読み込んでほしいという願いを込めたネーミングです。しかし、本当に一家に1枚になっているのでしょうか？みなさんのおうちには、はってありますか？

本気で目指す一家に1枚

国勢調査によれば、日本の世帯数はおよそ5000万世帯。ということは、一家に1枚を達成するためには5000万枚刷って配れば問題ないわけですが、現時点までに配布ないし販売された宇宙図はざっと10万枚程度。達成率は0.2%

程度です。おおう。

資金が潤沢にあれば一気に全世界に印刷して配ってしまうこともできるのかもしれませんが、残念ながら天ブラ関係者は慎ましい生活をしている者ばかりですので、そうもいきません。まずは影響力のあるところへ宇宙図を配布し、そこから少しずつ輪を広げていくのが戦略的に正しそうです。

そこで立ち上げたのが、一校に1枚宇宙図プロジェクト。全国の小中高に1枚ずつ無料配布し、校内にはってもらうことで子どもの天文学宇宙に対する興味関心を高めることが狙いです。今回は、全国のすべての小・中・高校38,468校に加えて、科学館・博物館の2,789団体合計41,257団体に配布を予定しています。

天ブラでは、一般社団法人学術コミュニケーション支援機構と協力して、このプロジェクトを進めるための資金を一般から募るクラウドファンディングを実施しています。9月15日が期限ですが、趣旨に賛同していただける方にはぜひご支援をいただければと思います。よろしくお祈りします！

東北地方で宇宙図イベントも開催予定。詳細はウェブで



宇宙図に関連したイベントも集中して実施中です。

目標金額	215,000円
現在集まった金額	1,400,000円
このプロジェクトの目標金額	26%
このプロジェクトの目標金額	20%

宇宙図プロジェクト：クラウドファンディング用ウェブサイト

<https://readyfor.jp/projects/uchuuuz>